

三河商人道

PART
202

青年部とは

「合コンパーティー」



【会社・仕事への思い】

高校を中退し、職を転々としていたところ、起業した友人の誘いを受け、そこで初めて硝子・サッシの仕事と出会いました。その後、社長・上司と折り合いが合わず退職を繰り返していたところ、現在の妻と出会い、妻の実家の稼業であれば続けられると思い、稲垣安全自動車硝子に就職しました。

また、映画「ワンス&フォーエバー」の「戦地には一番に赴き、退却の時は最後まで残る」という内容に感銘を受け、日々実践しております。そして「従業員とその家族を食べさせ続けられるように仕事をする」ことが役目だと思っております。



【青年部に入会されたきっかけ】

取引先の澤田君に「麻雀のメンバーが足りないから入会して」と声を掛けられ、また、辻村先輩の勧めがきっかけとなりました。碧南市出身のため、岡崎市での付き合いは仕事上の方しかいなかったが、「せっかく社長になったのだから顔を広げてきたら」と妻の後押しもあり、平成 27 年に入会を決めました。入会を機にスーツに合うようにと妻が時計を購入してくれたことは今でも覚えています。



【思い出に残る青年部活動】

平成 30 年度の育成委員会で幹事を務めることになったが、「あきんど塾」という周年事業を担当する委員会だけに PC も使えない自分はスタッフ会に参加することも辛かった。しかし、登用してくれた西森委員長の役に立ちたいとの思いで「あきんど塾」という形のないものを作り上げるプロセスが一番の思い出です。

また、退会届を提出していた小野田先輩を辻村先輩と引き留め、三人で朝まで語り合ったことも青年部活動の貴重な 1 ページとなりました。

【趣味など】

車とバイクが趣味であり、人とツルムことが好きなので一人で遊ぶよりも友人と一緒にワイワイすることが好きな反面、会話を続けることが苦手なのでツーリングなどで一緒に出掛け、合間に会話することが楽しみです。自分にとって車とバイクは人とつながるツールとなっております。

【青年部とは・・・】

「合コンパーティー」

ここで出会う様々な方に一目惚れをしてしまう。そしてメンバーを好きになり・理解し・もっと知りたいと思うからこそ、相手も自分のことを知ろうとしてくれる、そんな素晴らしい場所。

最後に後輩の皆様へ「出会った人を大切に、その人を知り好きになればいつか必ず自分に返ってくる。」

～～取材担当～～

岡崎ゆかり委員会

- ・澤田修一
- ・岡田隆司
- ・井上和俊
- ・清水裕司
- ・照井彬等
- ・大竹史将
- ・原田翔太
- ・西森紳司
- ・志村文教
- ・花市佳明
- ・丸山健一
- ・七味隆夫
- ・加藤静真

